

| | | | | | | | |
|---|---|--------------------|------------------|----------------|-----------------|------|---------------|
| 科目ナンバリング | | U-LAS70 10001 SJ50 | | | | | |
| 授業科目名 <英訳> | ILASセミナー：サステナブル・ファイナンス ILAS Seminar :Sustainable Finance | | | 担当者所属 職名・氏名 | 総合生存学館 准教授 金村 宗 | | |
| 群 | 少人数群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | ゼミナール(対面授業科目) |
| 開講年度・ 開講期 | 2024・前期 | 受講定員 (1回生定員) | 10(10)人 | 配当学年 | 主として1回生 | 対象学生 | 全学向 |
| 曜時限 | 水5 | 教室 | 東一条館実習室(121・122) | | 使用言語 | 日本語 | |
| キーワード | サステナビリティ / ファイナンス / 環境・社会・ガバナンス | | | | | | |
| 【授業の概要・目的】 | | | | | | | |
| <p>本講義では、近年注目を浴びているサステナブル・ファイナンス(持続可能な金融)を研究の対象とします。サステナブル・ファイナンスとは、顧客と社会の長期永続的な成長のため、環境・社会・ガバナンス(Environment・Social・Governance: ESG)の基準を事業または投資の決定に組み込むあらゆる形の金融サービスを指します。本講義では、ファイナンスに関する基礎的な知識を習得したうえで、グリーンボンド・排出権取引・ESG投資・グリーンフィンテックといったサステナブル・ファイナンスに関する最近の動向をいくつか簡単に紹介します。そしてグループごとに研究対象を決定したうえでそれらの問題点を設定し、その解決方法等についてグループごとにディスカッションを重ねることで、より具体的なリサーチを行います。</p> | | | | | | | |
| 【到達目標】 | | | | | | | |
| サステナブル・ファイナンスの基礎を学ぶことで新たな視座を得るとともに、高校までの学習とは異なるリサーチについての初歩的な経験を得ることを目指します。 | | | | | | | |
| 【授業計画と内容】 | | | | | | | |
| <p>【第1回】 ファイナンスの基礎(1)：キャッシュフロー分析 【第2回】 ファイナンスの基礎(2)：アセットプライシング 【第3回】 ファイナンスの基礎(3)：リスクマネジメント 【第4回】 サステナブル・ファイナンスの動向(1)：グリーンボンド、再生可能エネルギープロジェクト評価 【第5回】 サステナブル・ファイナンスの動向(2)：排出権取引 【第6回】 サステナブル・ファイナンスの動向(3)：ESG投資、グリーンフィンテック 【第7回】 研究対象の選択と決定：サステナブル・ファイナンスに関する動向として、グリーンボンド・排出権取引・ESG投資・グリーンフィンテックなどから研究対象を選択・決定する 【第8・9回】 問題の背景に関する調査と問題の設定に関するディスカッション(1)・(2) 【第10・11回】 問題の解決方法に関する調査とディスカッション(1)・(2) 【第12・13回】 リサーチに関する報告とディスカッション(1)・(2) 【第14回】 本講義のまとめと将来の方向性 【第15回】 フィードバック</p> | | | | | | | |
| 【履修要件】 | | | | | | | |
| 特になし | | | | | | | |
| ILASセミナー：サステナブル・ファイナンス(2)へ続く | | | | | | | |

ILASセミナー : サステナブル・ファイナンス(2)

[成績評価の方法・観点]

出席と議論への積極的な参加(40%)、グループでの発表(20%)ならびにレポート(40%)によって評価します。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

授業前に予習すべきこと: 前回授業内容の確認・質問事項の整理
復習すべきこと: 授業資料などを使って授業内容の確認

[その他(オフィスアワー等)]

(連絡先) 金村 宗 kanamura.takashi.3u@kyoto-u.ac.jp